

### 3 一般会計主要事業の概要

※事業費の後の( )書きは前年度当初予算額

#### 1 魅力あふれる交流連携のまちづくり

##### ◎中心市街地整備の推進

(公) **土地区画整理事業 (建設部 区画整理課)** (新市建設計画)

**586,000千円** (1,364,200千円)

##### 1 事業目的

都市施設の基盤整備と土地利用の再編により、駅前大街区を中心とした商業業務機能の集積と良好な住環境の整備を行い、魅力あふれる「新都市拠点」を構築する。

##### 2 事業年度

平成10年度～22年度

##### 3 事業概要

- (1) 施工面積 27.8ha
- (2) 施工地区 坂井町、庄内町の各一部
- (3) 総事業費 約273億円
- (4) 進捗状況 H20年度末までに約23ha (82%) 施工完了、330戸のうち先行買収分も含め約322戸 (98%) の移転補償が完了予定

##### 4 21年度の事業内容

- (1) 工事費 259,000千円
  - ・区画整理 A=2.2ha
  - ・緑地整備 A=803㎡
- (2) 補償費 230,000千円
  - ・建物移転 6件
  - ・水道、電柱電線類移設
- (3) 委託料 61,430千円
  - ・無電柱化工事委託 一式
  - ・実施設計 一式
- (4) 事務費 35,570千円

##### 5 財源内訳

- (1) 国 40% (11,500千円) (まちづくり交付金)
  - 50% (10,000千円) (土地区画整理事業補助金)
  - 55% (72,050千円) (地方道路整備臨時交付金)
- (2) 市債 95% (443,300千円) (合併特例債) (交付税算入率70%)
- (3) 負担金 634千円
- (4) 一財 (48,516千円)

(公) **駅周辺整備事業 (建設部 区画整理課)**

**50,000千円** (10,000千円)

##### 1 事業目的

新居浜駅前土地区画整理事業の進展にあわせ、市道専売公社南通り線の効率的・一体的な整備を行い、住環境の改善及び交通の利便性を高める。

2 事業年度

平成20年度～22年度

3 事業概要

市道専売公社南通り線延長220m・幅員6mの整備を行っていく。

4 21年度の事業内容

工事費 48,500千円 L=160m

事務費 1,500千円

5 財源内訳

(1)国40% (15,000千円) (まちづくり交付金)

(2)市債95% (33,200千円) (合併特例債) (交付税算入率 70%)

(3)一財 (1,800千円)

◎近代化産業ロマンの息づくまちづくり

(施) **あかがね基金積立金 (企画部 別子銅山文化遺産課)**

**30,000千円** (30,000千円)

1 事業目的

世界に誇れる別子銅山産業遺産を後世に継承し、市民が郷土・新居浜市に愛着と誇りが持てるまちづくりを推進するために、住民参加型まちづくりファンド「あかがね基金」を創設し、別子銅山産業遺産の保存活用を図る。

2 事業年度

平成20年度～22年度

3 事業概要

平成20年度から22年度までの3カ年事業として、あかがね基金を毎年度積み立てる。

4 21年度の事業内容

積立金 30,000千円

(単) **近代化産業遺産整備事業 (企画部 別子銅山文化遺産課) (新規)**

**3,152千円**

1 事業目的

世界に誇れる別子銅山産業遺産を後世に継承し、市民が郷土・新居浜市に愛着と誇りが持てるまちづくりを推進するために創設した「あかがね基金」を活用し、別子銅山産業遺産の保存活用を図る。

2 事業年度

平成21年度～平成22年度

3 事業概要

別子銅山産業遺産の一つであり、新居浜市のランドマークとして市民に親しまれている旧山根製錬所煙突を後世に継承するために、保存のための調査を実施する。

4 21年度の事業内容

調査委託費

5 財源内訳

(1)繰入金 (852千円) (あかがね基金繰入金)

(2)市債 (2,300千円)

## I 魅力あふれる交流連携のまちづくり

### ◎港湾の整備

(公) 港湾建設事業 (企画部 総合政策課)

26,200千円 (71,868千円)

新居浜港務局が実施する港湾整備事業費のうち、一般財源分及び起債分について負担する。

事業名	事業費	国費	県費	市債	一財
改修(重要)事業	73,000	33,700	13,100	23,500	2,700

(交付税算入率50%)

※以下港務局ベースの事業費

◇改修(重要)事業 73,000千円 (200,000千円)

#### 1 事業目的

増大する貨物需要に対応した内貿ふ頭を整備するとともに、大規模災害時の緊急物資等の輸送拠点となる耐震強化岸壁を建設する。

#### 2 事業年度

平成12年度～平成26年度

#### 3 事業概要

新居浜港東港地区に新たに-7.5m岸壁(5千トン級)及び-5.5m岸壁(2千トン級)の2バースを整備し、内貿用一般貨物の取扱を行う。-7.5m岸壁は、耐震強化岸壁として整備し、大規模地震災害時の緊急物資等の輸送拠点とする。

平成12年度に事業採択され、調査設計を行った後、平成13年度から本格的な工事に入った。平成18年度までに岸壁築造に必要なケーソン20函の据え付けが完了し、現在、上部工や浚渫工事を実施している。

#### 4 21年度の事業内容

(1) 工事費 64,400千円

- ・ -7.5m岸壁舗装工 一式 (26,100千円)
- ・ -5.5m岸壁舗装工外 一式 (24,300千円)
- ・ ふ頭内道路地盤改良工、排水工 (14,000千円)

(2) 委託料 3,000千円

(3) 事務費 5,600千円

### ◎都市間交流幹線道路網の整備

(公) 西町中村線改良事業 (建設部 道路課) (新市建設計画)

65,700千円 (218,000千円)

#### 1 事業目的

県道新居浜港線と上部東西線とを国道11号を經由して結ぶ上部地区の幹線道路であり、一般国道11号西之端交差点改良、県道の整備と連携し事業効果を高める。

#### 2 事業年度

平成16年度～21年度

#### 3 事業概要

車道の拡幅、右折レーン及び歩道の設置により渋滞緩和、自転車歩行者の安全を図る。

(1) 国道11号西之端交差点～市道大生院船木線 (旧国道)

(2) 延長 170m

(3) 幅員 20m

**4 21年度の事業内容**

- (1)委託料 1,000千円  
・事後評価
- (2)工事費 61,300千円
- (3)事務費 3,400千円

**5 財源内訳**

- (1)国 55% (31,350千円) (地方道路整備臨時交付金)
- (2)市債 95% (32,600千円) (合併特例債) (交付税算入率70%)
- (3)一財 (1,750千円)

(公) **角野船木線改良事業 (建設部 道路課) (新市建設計画)**

**96,000千円** (70,480千円)

**1 事業目的**

新居浜インターチェンジから山根公園を經由し、主要地方道新居浜別子山線・上部東西線を最短路線で結び、国道11号線の慢性的な渋滞緩和を図るとともに地域住民の安全と生活経済活動を支える。

**2 事業年度**

平成16年度～24年度

**3 事業概要**

- (1)第1工区 (山根公園～市道新田東縦道線)、  
第3工区 (市道国領高祖線～新居浜インターチェンジ)
- (2)延長 1,007m
- (3)幅員 12m

**4 21年度の事業内容**

- (1)工事費 14,700千円  
・道路舗装工 A=2,000m<sup>2</sup>
- (2)委託料 2,900千円
- (3)用地費 33,000千円
- (4)補償費 40,200千円
- (5)事務費 5,200千円

**5 財源内訳**

- (1)国 55% (44,550千円) (地方道路整備臨時交付金)
- (2)市債 95% (46,900千円) 合併特例債 (交付税算入率70%)
- (3)一財 (4,550千円)

## I 魅力あふれる交流連携のまちづくり

---

(公) 上部東西線改良事業 (街路) (建設部 道路課) (新市建設計画) (新規)

12,000千円

### 1 事業目的

上部地区を東西に結ぶ、国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、テクノパーク・広瀬公園・山根公園を直線的に結ぶ路線であることから、生活支援、観光客の誘致等の観点から、未整備区域の事業化を推進する。

### 2 事業年度

平成21年度～29年度

第1期 平成21年度～平成24年度 (L=387m)

第2期 平成25年度～平成29年度 (L=521m)

### 3 事業概要

(1) 市道中須賀上原線から市道萩生出口本線まで

(2) 延長 908m

(3) 幅員 16m

### 4 21年度の事業内容

(1) 委託料 11,700千円

・実施設計、用地測量、物件調査一式

(2) 事務費 300千円

### 5 財源内訳

(1) 市債 95% (11,400千円) (合併特例債) (交付税算入率70%)

(2) 一財 (600千円)